

學會の動き

日本經營學會(第二九回大會)

日本經營學會の本年度の大會は一〇月二・一三・一四の三日間、會員二五四名出席のもとに、神戸大學で開催せられた。この大會では新しい試みとして、從來のように研究論題を統一論題および自由論題の二つとせず、前者のみに限定せられた。また、毎日の研究報告の後で當日の報告を中心とする討論會が開かれたが、報告および討論は一會場だけで行われた。ところで、統一論題ならびにその内容は次の通りである。

一 總論

- 1 經營學の本質および體系
- 2 經營學史の體系
- 3 經營史の體系
- 4 經營政策の體系
- 5 社會主義經營學の體系
- 6 部門經營學の體系

二 各論

- 1 形態論の體系
- 2 管理論の體系
- 3 組織論の體系
- 4 勞務論の體系
- 5 財務論の體系
- 6 費用論の體系
- 7 計算論の體系
- 8 販賣論の體系
- 9 位置論の體系

さて、大會日程と右の諸論題との關係、およびこれらの諸論題に關する研究報告者とその題目は次の通りである。なおこの場合、報告者とその題目は報告順によることとする。

- 第一日——「經營學の本質および體系」、「經營學史の體系」および「社會主義經營學の體系」に關する報告ならびに討論。
- 經營學の本質および體系 大阪市 伊藤淳巳
 - 管理技術學と經營學 立一橋大學 藻利重隆
 - 經營學の本質および體系 明治大學 佐々木吉郎
 - 總論の體系および内包 神戸大學 平井泰太郎
 - 國際經營學會の報告 神戸大學 古林喜樂
 - 社會主義經營學の體系 東京都立商大 大島國雄
 - 社會主義企業經濟學の體系と内包 神戸大學 海道進
 - 經營經濟學史の體系 神戸大學 市原季一

經營學の本質および體系
企業活動の一般理論——活動範圍決定と活動體系——

和歌山 尾上忠雄

國府商科 短期大學 横川義雄

第二日——「經營史の體系」、「經營政策の體系」、「部門經營學の體系」、「形態論の體系」、「組織論の體系」に関する報告および討論。

經營政策の體系

形態論の體系

經營史の體系

商業經營學の體系

中小企業經營學の成立

組織論の問題點

企業形態の體系と内容

經營政策の體系

第三日——「管理論の體系」、「勞務論の體系」、「財務論の體系」、「計算論の體系」、「販賣論の體系」、「位置論の體系」に関する報告および討論。

經營管理論について

管理論の體系

販賣論の體系

位置論の體系

勞務論の體系

勞務論の體系

神戸 占部都美
大塚 山本安次郎
成蹊 野田信夫
明治 清水晶
神戸 米花稔
神戸商 寺田武義

學界消息

財務管理論の體系

炭礦經營管理論

科學的管理法と品質管理およびORとの關係

九州 馬場克三
八幡 篠崎彦二

大阪府立産業 能率研究所

富山 村山乾一
名古屋 竹林信一

勞務論の體系

經營財務の體系と内包

計算論の體系

さて、討論會においては、第一・二・三日ともに約三時間が費され、右の諸報告に関する質疑ならびに討論が活潑に展開せられた。

なお、研究報告ならびに討論は、三日間を通じて午前九時三〇分より午後六時すぎまで行われた。また、大會第二日には、討論會終了後大學構内で晩餐會が開かれ八時頃散會した。

以上が第二九回大會行事の概況であるが、大會三日間を通じて終始熱心な研究報告が行われ、眞摯な質疑、討論が交換せられて、そこにわが國經營學界の力強い發展の歩みを見ることができた。また、晩餐會は會員相互の懇親を計り、學問に関する個人的な接觸に資すること多く、有意義であった。

本年は理事長、理事、幹事、評議員の改選期に當り、學會の行事が多かったにもかかわらず、報告ならびに討論が一つの會場で行われ、會員全員が總ての報告をきき、かつ討論に参加しうる事情にあったため行事が圓滑に運営せられた。これひとえに當番校の絶大な努力と會員諸氏の協力によるものであること

とを特記しなければならない。
最後に、本學會において、明年度の大會當番校が東京大學に

決定したことを附記しておく。(藤津清治) (一橋大學講師)